

農業・農村の多面的機能とは

農業は私たち国民に大きな恵みをもたらします。

日本の農業・農村は、「食」を支えているだけでなく、今回紹介した国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など様々な働きを持っています。

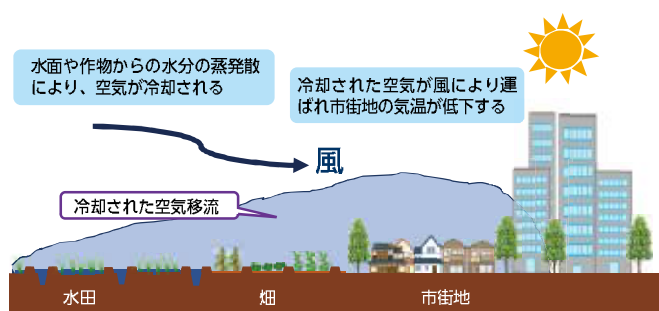
このような様々な働きを「農業・農村の多面的機能」といいます。この「農業・農村の多面的機能」は、日本国民の大切な“財産”であり、これを維持・発揮させるためにも、農業を継続する事が大変重要です。

農業・農村の多面的機能には、これまで紹介してきた機能以外にも様々な働きがあります。

▼そのほかの働き

暑さをやわらげる働き

田の水面からの水分の蒸発や、作物の蒸散により、空気が冷やされます。この冷涼な空気は周辺市街地の気温上昇を抑える効果もあります。



癒しや安らぎをもたらす働き

農村の澄んだ空気、きれいな水、美しい緑、四季の変化などが、安心とやすらぎを与え、心と体をリフレッシュさせます。



心安らぐ緑の空間

体験学習や教育の場としての働き

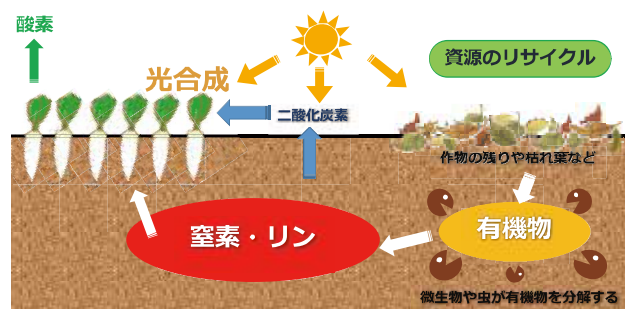
農村で、動植物や豊かな自然に触れることで、生命の大切さや食料の恵みに感謝する心が育れます。



田植え体験

有機物を分解する働き

田畑の土の中にあるバクテリアなどの微生物は、家畜の排泄物や野菜のくずなどから作った堆肥（有機物）を分解し、作物が養分として利用しやすい形に変えます。



医療・介護・福祉の場としての働き

緑豊かな農村で、土や自然に触れ農作業を行うことは、高齢者や障がい者の機能回復に役立っています。



高齢者の生きがい作り

地域独自の知恵や技術を作り出す働き

生産と暮らしが一体化している農村社会では、地域独自の知恵や技術が作り出され、今日に伝えられ、農業の振興がその下支えとなっています。



農家に代々伝わる郷土菓子「こうれん」を会員総出で手作り